

注目のデザイナー大城健作氏が手掛ける

イタリアブランド「ポルトローナ・フラウ」最新モデルが日本初登場！ Exhibition 『Design comes home』を開催

日時：2018年11月29日（木）～12月2日（日）

場所：Poltrona Frau Tokyo Aoyama

ポルトローナ・フラウ東京青山は、ミラノを拠点に活躍する注目の日本人デザイナー大城健作氏がデザインを手掛ける新作モデルを日本初導入するExhibition「Design comes home（デザイン・カムズ・ホーム）」を2018年11月29日（木）より12月2日（日）までの期間限定で開催いたします。

大城健作氏は、これまでインテリア業界トップブランドとの数多くのプロジェクトに携わり、その領域は家具を中心に生活用品全般のプロダクトまで多岐に渡ります。2015年に独立し、自身のスタジオをミラノに構える今注目の日本人デザイナーです。

この度のExhibition「Design comes home（デザイン・カムズ・ホーム）」では、大城健作氏がポルトローナ・フラウより2016年に発表した代表作「LEPLI（レプリ）」がExhibition仕様で展示されるほか、日本初お披露目となる最新作を発表いたします。イタリアのトップブランドであるポルトローナ・フラウと大城健作氏のコラボレーションによる期間限定の特別展示がお楽しみいただけます。また、11月29日（木）は、大城健作氏をお招きし、代表作「LEPLI（レプリ）」や最新作について自らご紹介いただきます。

【開催概要】

Exhibition

Design comes home

- 日時：2018年11月29日（木）～12月2日（日）
- 場所：Poltrona Frau Tokyo Aoyama
東京都港区南青山5-2-13
- ゲスト：大城健作
※大城健作氏の滞在は11月29日（木）13:00～16:00予定となります。予めご了承ください。
- 主な内容：大城健作デザインの代表作「LEPLI（レプリ）」および最新作の期間限定特別展示



公式ページ：<https://www.idc-otsuka.jp/poltrona-frau-tokyo-aoyama/>

大城健作

1977年 沖縄県生まれ、1999年 Scuola Politecnica di Design卒業。
2004年～Lissoni Associati (ミラノ)、2012年～Barber&Osgerby (ロンドン) での勤務を経て2015年ミラノにて独立。
これまでインテリア業界トップブランドとの数多くのプロジェクトに携わり、その領域は家具を中心に生活用品全般に至るプロダクトまで多岐に渡る。主なクライアントにBoffi, DePadova, Glas Italia, Kristalia, Ligne Roset, Poltrona Frau, Viccarbe, Zanottaなど。
M&O Paris Rising Talent Award 2018, EDIDA Young Designer Talent 2016ノミネートなど受賞歴多数。



イタリアのアルティジャーノの技が息づく至高のブランド Poltrona Frau

1912年にイタリアのトリノで創業したポルトローナ・フラウ社。職人の手によりつくられる上質な家具はイタリア中に知れ渡り、1926年にイタリア王室に御用達の指名を受けました。それ以来、ステータスシンボルとしての地位を確立しています。ポルトローナ・フラウ社には、バニティフェアやチェスターに代表される伝統的なヒストリカルコレクションと、ジオ・ポンティやピエール・ルイジ・チェッリ、ジャン・マリー・マソーといった著名なデザイナーや建築家によるモダンコレクションがあります。伝統を大切にしながらも、新しいものへ挑戦する。こうした姿勢からも幅広い人々の支持を集めています。



アルティジャーノの伝統と技

ポルトローナ・フラウ社の家具は伝統的な職人技を駆使して生み出されます。熟練の職人の手によってつくることにこだわり、伝統技術を守り続ける一方で、現在もさまざまな新モデルを開発するなど、常に将来を見据えて進む姿勢に老舗ブランドの風格が感じられます。

独特な柔らかさを持つ最高級の革「ペレ・フラウ」

厳選された上質な仔牛の皮を丁寧に加工し、厳格な品質管理を経て生まれる「ペレ・フラウ」。96種類以上ものカラーバリエーションと発色の良さは世界中で絶賛されています。やわらかく肌に馴染むこの革は、曲線を表現するのに最適。この革があってこそ、ポルトローナ・フラウ社の“家具芸術”なのです。

